

(株) ソニア

調査特別委員会の報告

委員長 大原 儀郎

1期から16期までの決算書によると、全事業年度、すべて赤字決算となっている。

特に佐川町に設置した、製材工場の事業を始めた13期より16期までの4年間は、全国の類似製材林業の例を見ても全国に類を見ない巨額の赤字決算が続いてきた。

総務省から「累積欠損を続けている第三セクターを抱えている自治体に対し、そのままにしていると自治体の財政に大きく影響するおそれがある、単年度決算を見極め、自立の見込みがない場合は先送りする事なく、直ちに解散をせよ」との通達

が県を通じてきている。にもかかわらず経営の見通しが立たないまま、これまで引きずって来た事は誠に遺憾の極みである。

ここに責任の所在を明らかにするため、経営の実務者と最高責任者である代表取締役の告発も考えられるが、これを法的に解明するには町の多大

な経費と長い日数を要するものと思われる。

今後は、残っている資産を何らかの形で、仁淀川流域の林産業発展に活用することが、最も重要ではないか。

しかし、ここまでに至った責任は出資している「町」にある。対応の遅れた責任は議会も逃れる事は出来ない。

(全員賛成) 可決



特別委員長の報告が最後の議会となりました。大原儀郎議員

(株)ソニア破綻への歩み

年月日	ソニア	議 会 (一般質問)	県
5年12月	設立 資本金3億750万円 従業員12名 代表取締役 藤崎吾川村長		
8年11月	プレカット工場の建設計画が具体化 和田佐川町長が「黒字の計画は甘く、採算性に疑問がある」と再検討を要求 藤崎社長「消費税アップ前なら販路確保の自信もある」と主張 両者の意見は平行線 藤崎氏社長の辞表を提出 四首長が慰留 藤崎氏辞表を撤回 積立完了15億7790万円 (内仁淀川町10億3400万円65・59%) 製材操業開始 森林組合(日浦郷一組合長)に作業委託 減価償却費を施設の賃借料に見込んでおらず、森林組合は5900万円の赤字を出した 代表取締役 藤崎吾川村長から三浦池川町長へ交代 製材工場 ソニアが自主操業 森林組合の施設の賃借料(5900万円)に関する問題が噴出 代表取締役		
15年7月			
9年5月			
16年11月			
17年9月			
18年7月	三浦氏から藤崎仁淀川町長に交代 武藤信義(高知工科大)が取締役に就任 新生産を推進のための施設整備(乾燥機)を県に要望 望 操業時間の変更 15交代 操業時間の変更 2交代 乾燥機5基体制確立 理事会で原価の状況説明を求める 簡単にはできない旨の発言 資金繰り表は作成すると発言 ――不履行――	18年12月 問 若藤「赤字の責任は誰がとるか」 答 町長「取締役」 問 岡田「赤字の原因は」 答 町長「生産性と品質管理の低さ」 問 西森(常)「資料の提出を求める」 答 町長「ここでは出せない」 問 大原「大量に製材すれば赤字が増えるが」 答 町長「鋭意努力する」	
19年11月			
19年2月28日			
橋本議長・西森(常)副議長 佐川・越知両議長・副議長と面談			
10月18日			
藤崎社長(仁淀川町長) 武藤氏、坂本専務に 1シフトでキャッシュアウトが起らない方 策を提案(武藤氏県の提案は作文と一笑)			



21年 1月
20年 3月
11月
10月
8月
5月

概算で1億2500万円の欠損見通し
武藤氏3交代を提案

武藤氏退任

高橋克昭氏（高橋製材）に指導を依頼

6000万円（森林組合貸付金を担保）を借入

高橋氏（総括本部長）から藤崎氏（アドバイザー）に指導の支援を求める



「株ソニアの経営について」の合同勉強会を提案（両町より返答なし）

問 大原「計画表の提出を求める」
答 町長「佐川・越知との関係で提出できない」

問 岡田「赤字はいつまで続く」
答 町長「二交代が原因。工科大・県の指導を受けやっていく」

問 若藤「企業秘密とは」

答 町長「住民に報告する法的義務はない」

問 大原「2交代で好転すると言ったが」
答 町長「武藤教授の指導のもと、見通しも立ってきた」

答 大石副町長「常に指摘している」

問 19年 12月
大原「ソニア設立の趣旨は」
答 町長「林業後継者の育成」

問 20年 3月
大原「製材から素材生産に転換を」
答 町長「2交代を見直し、9人3班で素材生産に取り組む」

問 20年 9月
大原「大丈夫か」
答 町長「危ない」
問 大原「17年に1億1200万円、18年に1億1400万円、19年に1億5500万円の赤字となっている。」

答 町長「挽けば挽くほど赤字が拡大していった。武藤教授は工科大を辞めたので、ソニアの指導はできなくなった」

問 21年 3月
大原「今後の対応は」
答 町長「閉鎖か継続か、厳しい瀬戸際にある」

問 21年 9月
大原「もうもたないのでは」
答 大石町長「有益な方策打ち出せず」



11月18日
役員交代（武藤・坂本専務）ガバナンスの確立、余剰人員の整理を柱に改善のアドバイス
佐川町長、武藤氏と県で協議。武藤氏が原木の加工が順調と報告。県、武藤氏の計画を認めず改善、ポイントを説明。武藤氏、県に説明や納得を求める必要ないと発言



アニメ映画を使つての誘拐防止教室

（12月25日 長者小）
気を付けてネ！

日 記 帳

9月30日	三町正副議長会 (越知町)	11月1日	長者地区戦没者 追悼式	13日	議会広報研修会 (株)ソニアの 事務に関する調
10月9日	四国地区町村議 会議長会 (松山市)	2日	県戦没者追悼式 (高知市)	16日	事務に関する調 査特別委員会
15日	議会だより特別 委員会	5日	議員全員協議会 (株)ソニアの事 務に関する調査 特別委員会	17日	事務に関する調 査特別委員会 (株)ソニアの
16日	県議長会創立60 周年記念式典及 び講演会	9日	事務に関する調 査特別委員会	26日	臨時議会
20日	森地区戦没者追 悼式	10日	郡議長会視察研 修(神奈川県)	30日	議員全員協議会 中学生模擬議会
21日	議会だより特別 委員会	10日	国町村議会議長 会全国大会	12月2日	広域議会
26日	臨時議会	12日	(株)ソニアの 事務に関する調 査特別委員会	9月10日	議会運営委員会 定例議会
				10日	全員協議会
				21日	(株)ソニアの 事務に関する調 査特別委員会
				25日	臨時議会

コラム



牽引目次を

コラム投稿の依頼があり、早速外来語辞典を調べると、新聞雑誌の特別欄、囲み物を受持つ人と解説している。

議会だよりの目的は、議会の運営活動を町民に広く周知することである。年4回の定例、臨時会、委員会の状況、議会の動きなど、紙面づくりは、大変な作業であると推察する。私も議会だよりは、全号をファイルして大事に保管している。

若い頃役場に就職した際、上司先輩から書類は、起案、実施、決算完結と順序良く整理をせよと強く指導助言された。

議会だよりは、発行号から現在17号となっており、この記事には多くの方々が投稿されている。

今般特に要望する事は議会だよりの主な題目記事に牽引目次集を作製し、後日の参考資料とするよう希望する。

第二区 岡崎 正

この4年間、ご愛読、広報の紙面にご協力いただきまして、ありがとうございます。今後も引き続き「議会だより」を発行いたしますので、よろしくお願いいたします。

読後のご感想、ご意見をお寄せください。
議会だより編集委員会

合併して早4年が過ぎ、今年はいまだに寒い、寒さが厳しい年明けとなりました。
「議会だより」も創刊号から第18号発行となりました。今回の内容は、21年12月末までの内容になっています。